

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

だい 11 期 だい 2 年 だい 2 回 だい 2 日
(第 11 期 第 2 年 第 2 回 第 2 日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2017 (平成 29) 年 9 月 3 日 (日) 午後 2 時～5 時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 17 人

葉 元聡、チャクラヴァルティー アルナンシュ、金 スンオグ、タカハシ
ライゼール ラモス、幕内 嘉雯、河本 ファビオ良則、スタント イルワン、
河 相宇、ホサニ アハマド ユースフ、牟 鳳菊、ディットマー ダニエラ、
韓 簫、ケゼングア エドワード ムウインビ、キースタ ケーシー ジェイ、
蔣 香梅、ヴィラマー ジェリー、ヒラチャン アスカ

(2) 事務局

鈴木 室長、小川 担当課長、須藤 課長補佐、岩切 担当係長、丸橋 職員、
高橋 専門調査員

4 傍聴者 13 人

5 会議次第 (公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ケゼングア副委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議 2017 年度、
第 2 回第 2 日を開催する。今日は、ヘイさん、サリさん、ファチマさん、イエレナ
さん、レ ベトさん、オクサナさん、徐さんが欠席だ。次に、今日の日程と配付
資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

ケゼンダ副委員長「次に、前回会議のまとめについて事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

ケゼンダ副委員長「それでは、議事に入る。まずは、代表者の辞任と補充についてだ。前回、最後に挨拶をしてもらったが、ケリーさんが市外へ転居することになったため、代表者会議を続けることができなくなってしまった。ケリーさんの辞任に伴い、新たな代表者を補充するかどうかを決める。4月にも代表者の補充について決めたが、今回も残りの期間が短いので補充はしないという方向で考えている。資料も前回と同じ資料だが、質問や説明が必要なことはあるか。(なし)では、資料説明は省略して決をとる。代表者の補充をしないことに賛成の人は手をあげてください。(全員賛成)では、補充しないということで決定だ。次の議事は部会審議だ。今日は部会審議の後にオープン会議についての審議がある。オープン会議では、提言案について広く意見を聞くということになっているので、今日の部会審議で提言の候補や内容について、できるだけ具体的に話を掘り下げて欲しい。次回の会議は10月で、オープン会議は11月なので、今日ある程度、提言の候補について固めることができないと、オープン会議に間に合わなくなる。

【情報社会教育部会】

キースタ部会長「それでは、情報・社会教育部会を始める。まずは、前回会議の確認について事務局から説明をお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料1に基づき説明。)

キースタ部会長「それでは、審議に入りたい。ウェブサイトに関しては、資料3-1にもあるように、ライフイベントごとの情報のまとめやガイドラインもすでにある。このほかに何か改善ということになると、HTML形式で情報を載せて欲しいといったようなかなり細かいものになってしまうのではないか。これを提言にすることは難しいのではないかと思っているのだが、みなさんはどうか。」

ディットマー委員「情報に関しては、どの期でも審議テーマにあがってくるので課題は残っていると思うが、ホームページの改善というのは今の話にあったように難しいと感じる。情報の周知という意味では、オリエンテーションのなかに組み込むのがよいのではないか。」

スタント委員「それがよいと思う。」

チャクラヴァルティー委員「困っている人に情報を周知しても、その先で自分でそこまでやらないということでは、結局、問題は改善されないと思う。その意味では、オリエンテーションでしっかりと伝えるのは効果的だと思う。」

キースタ部長「ほかに意見がなければ決をとりたい。(なし) ウェブサイトの改善については提言としないということに賛成の人は手をあげてください。(全員賛成)。では、オリエンテーションに移りたい。11月にオープン会議があるので、オリエンテーションの内容を具体的に固めていきたい。まず、名前について少し議論したい。これまでオリエンテーションコースと呼んでいたが、2、3時間の説明ならコースではないので、コースをとってオリエンテーションという方がよいのではないかという提案を事務局からもらった。個人的には、『Welcome to Kawasaki』のような名前がよいのではと思っているが、みなさんはどうか。」

チャクラヴァルティー委員「たとえば、『Life in Japan Session』とか何か関心をもってもらえそうな魅力的な名前がよいと思う。」

ディットマー委員「日本での生活を前面に出すよりも、川崎の紹介をしますということが伝わる方がよいと思う。」

ヴィラマー委員「私も日本ではなく、川崎ということを出した方がよいと思う。」

幕内委員「年金とか国民健康保険とか、日本にはじめて来た人がよく知らないことを説明するものだということが、わかるとよいのではないか。」

ディットマー委員「今、名前ということで話していたが、幕内さんの意見を聞いてまずは内容を固める方が大事ではないかと思った。」

牟委員「2週間くらい前に知り合いから電話があったのだが、在留資格のことで相談された。よくわからない人が多いのかもしれない。」

スタント委員「子どもの医療制度などは自治体によって違ったりするので、説明があるとよいかもしれない。」

ヒラチャン委員「まず、内容は大きく2つに分かれると思う。国の制度や電車の乗り方など、川崎市以外でも共通のものと、川崎市独自のものだ。そういった2部構成にすると、聞いている方も理解しやすいのではないか。それと、内容についてどこまでふれるかということだが、1つ1つ細かく説明することは基本的に無理だと思うので、問い合わせ先や大事なポイントに絞って説明するのがよ

いと思う。」

ディットマー委員「オリエンテーションは相談室ではないので、参加者それぞれの細かいニーズには対応できない。」

チャクラヴァルティー委員「私のイメージでは、新しく川崎市に来た人たちが生活を立ち上げるための支援だ。ごみの捨て方や体調を崩したとき、緊急の場合にどうしたらといったことの簡単な紹介だ。内容を重たくしない方がよいと思う。」

キースタ部会長「これまでの審議のなかで、一方的に説明するのではなく、Q&Aの時間が大切だという意見もあったと思うが。」

スタント委員「Q&Aの時間はあった方がよい。」

チャクラヴァルティー委員「仮に2時間であれば、例えば1時間15分ぐらいは説明をして、残りの45分ぐらいはQ&Aの時間にすればよいと思う。」

ディットマー委員「内容に関しては、実施していくなかで経験を蓄積して、フィードバックしていくことも必要だと思う。」

牟委員「オリエンテーションが全部日本語だと、どうしてもわからなかったり、個人的に聞きたいことが聞けなかったりすると思う。日本語がわからない人たちのことを考える必要があると思う。」

キースタ部会長「ここまでの議論を整理したい。オリエンテーションの内容に関しては、川崎市のことを中心に、それ以外の日本の共通のことについても扱うということではどうか。賛成の人は手をあげてください。（全員賛成）言語についても少し意見が出たが、みなさんどうか。」

チャクラヴァルティー委員「全体の説明はやさしい日本語にして、Q&Aでどこまで多言語に対応できるかということではないか。」

ディットマー委員「事前に参加者の把握ができれば通訳の対応もしやすいかもしれない。ただ、事前申込制にすると参加者が減ってしまうかもしれない。」

キースタ部会長「時間が迫ってきたので、この点についても確認をしておきたい。基本的な説明はやさしい日本語で多言語対応はあらためて考えるということではどうか。賛成の人は手をあげてください。（全員賛成）あと、開催場所と頻度についても決めたい。」

ヒラチャン委員「各区でやった方がよいと思うが、住んでいる区のものにしか参加できないというふうにはしない方がよい。」

ディットマー委員「私も各区でできたらよいと思うが、北部・中部・南部と3か所でそれぞれアクセスのよいところで定期的に開催するというのはどうか。もちろ

ん、どこに^{さんか}参加してもいいと思う。」

キースタ部会長「頻度としては、ひとまず^{しはんき}四半期に1回くらいが^{めやす}目安かと思うが。」

チャクラヴァルティ委員「年に4回ということか。」

牟委員「3か所^{しよ}で各3回、全体^{ぜんたい}で9回というの^{かい}はどうか。」

ディットマー委員「区^くによって^{ばらつき}バラつきもあるので、状況^{じょうきよう}に応じて^{かいすう}回数は^か変えてもいいのではないか。」

キースタ部会長「まだ、固^{かた}ま^{って}いないこともあるが、時間^{じかん}なのでここ^こまでとする。

次回^{じかい}まで1か^{げつ}月あるのでそれぞれ^{かんが}考えてきて^ほ欲しい。それでは、これ^がで部会^{ぶかい}を^お終わりにする。」

【地域生活部会】

金部会長「それでは、地域生活部会^{ちいきせいかつぶかい}をはじめ^{じかん}める。時間^{かぎ}も限^{かぎ}られているので、前回^{ぜんかい}会議^{かいぎ}の^{かくにん}確認^{かくにん}については^{しりようやく}省略^{しりようやく}でよいか。（^{いぎ}異議^{いぎ}なし）では、追加^{ついか}で^{りくえすと}リクエスト^{りくえすと}した^{しりよう}資料^{しりよう}について、^{しりようせつめい}資料説明^{しりようせつめい}をお願い^{ねが}する。」

（事務局高橋専門調査員^{じむきょくたかはしせんもんちようさいいん}が資料4-1^{しりよう}に基づき^{もと}説明^{せつめい}。）

金部会長「何か^{なに}質問^{しつもん}や意見^{いけん}はあるか。（^{なし}なし）では、資料^{しりよう}も^{しんぎ}ふまえて^{はい}審議^{しんぎ}に入^{はい}りたい。今日^{きょう}の会議^{かいぎ}では、提言^{ていげん}の候補^{こうほ}を^{しぼ}絞^{しぼ}りたい。現在^{げんざい}の候補^{こうほ}としては、保育園^{ほいくえん}について、健診^{けんしん}のお知らせ^{おしらせ}について、防災^{ぼうさい}アプリ^{あぷり}について、災害^{さいがい}後の課題^{かだい}の4つ^{よつ}だ。今^{いま}から^{あた}新しい^{あたら}候補^{こうほ}を^{むづか}くわえるのは^{おも}時間^{じかん}的に^{むづか}難^{むづか}しいと^{おも}思うが、まずは^{おも}その^{おも}ような^{おも}認識^{にんしき}でよいか。（^{いぎ}異議^{いぎ}なし）今^{いま}、あげた4つ^{よつ}のうち^{さいがい}災害^{さいがい}後の^{かだい}課題^{かだい}について^{おも}は、これまでの^{ようす}様子^{ようす}から^{ていげん}提言^{ていげん}の^{ゆうりよく}候補^{こうほ}として^{おも}有力^{ゆうりよく}だ^{おも}と思う。まだ^{ぎろん}議論^{ぎろん}を^{ふか}深^{ふか}めて^{おも}具体化^{ぐたいか}して^{おも}いく^{おも}必要^{ひつよう}はある^{おも}と思うが、もし^{ていげん}提言^{ていげん}と^{おも}する^{おも}こと^{おも}に^{おも}賛成^{さんせい}であれば、^{おも}今日^{きょう}は^{おも}ほか^{おも}の^{おも}候補^{こうほ}について^{おも}検討^{けんとう}する^{おも}こと^{おも}に^{おも}時間^{じかん}を^{おも}かけて^{おも}絞^{しぼ}りたい。（^{いぎ}異議^{いぎ}なし）まずは、^{おも}子育て^{こそだ}関連^{かんれん}の^{おも}テーマ^{てま}について^{おも}何か^{なに}意見^{いけん}はあるか。」

ケゼンガ副委員長「保育園^{ほいくえん}の資料^{しりよう}を見て^{おも}の感想^{かんそう}だが、やはり^{おも}項目^{こうもく}も^{おお}多い^{おお}し、日本語^{にほんご}も^{おも}難^{むづか}しい。^{おも}ルビ^{るび}も^{おお}ない。^{おも}読^よめ^{おお}ない^{おお}人も^{おお}多い^{おお}だろう。やさしい^{おお}日本語^{にほんご}か、^{おお}多言語^{おおげんご}か^{おお}といった^{おお}こと^{おお}を^{おお}検討^{けんとう}する^{おお}必要^{ひつよう}は^{おお}ある^{おお}が、^{おお}外国人^{がいこくじん}向け^{むけ}の^{おお}チェック^{ちえく}リスト^{りすと}の^{おお}ような^{おお}もの^{おお}があると^{おお}便利^{べんり}だろう。」

タカハシ委員「私も^{わたし}エドワード^{えどわーど}さんに^{おも}賛成^{さんせい}だ。申請^{しんせい}の^{おも}流れ^{なが}をもっと^{おも}わかり^{おも}やすく^{おも}したら、^{おも}不安^{ふあん}の^{おも}解消^{かいしょう}になると^{おも}思う。必要^{ひつよう}な^{おも}書類^{しりょう}を^{おも}もら^{おも}える^{おも}窓口^{まどぐち}や^{おも}書類^{しりょう}の^{おも}名前^{なまえ}などが^{おも}もっと^{おも}わかり^{おも}やすいと^{おも}助^{たす}かる。」

河本委員「個人的^{かのもと}には、保育園^{こじんてき}の^{おも}制度^{せいど}は^{おも}日本人^{にほんじん}にと^{おも}っても^{おも}複雑^{ふくざつ}なので、それを^{おも}外国人^{がいこくじん}の

ためにわかりやすくというのは難しいと思う。エドワードさんやライゼールさんのようなアイデアならよいかと思う。」

韓委員「2つ提案したい。1つ目は、保育園の申し込みのパンフレットはぱっと見てもなかなかわからない。たとえば、多言語のビデオをつくったらどうか。2つ目は、中国語版を見たがわからない言葉がたくさんあった。翻訳のクオリティに問題があると思う。」

葉委員「保育園については、義務教育ではない。ただでさえ、待機児童も多いので、日本語がまったくできない人向けにいくら制度の説明をしても申請が通る確率は低いと思う。それよりも、日本語ができなくて幼稚園にも保育園にも入れなくて社会的に孤立している主婦の問題をどうにかできないかと思う。」

金部会長「保育園は義務教育ではないが、福祉制度として保障されなければならないものだと思う。たしかに保育園が足りなくて、そのために制度が複雑になったりしているが、行政も解消に向けて取り組んでいる。それと、外国人だから入れないということはない。」

葉委員「外国人だから入れないということではない。日本語がまったくわからない人にいくら説明をしてもあまり意味がないと感じている。それと、保育園では園庭を開放したりしているので、そういった情報がもう少し日本語がわからない主婦に知られるとよいと思う。」

タカハシ委員「保育園の制度と申請のことをいったんわけて考えた方がいいと思う。」

私は今でも制度のことはわからないことも多い。」

金部会長「健診のお知らせについてはどうか。」

ホサニ委員「個人的には、健診の方が大事だと思う。実現性も高いと思う。」

ケゼングア副委員長「私も実現性が高いので残すべきだと思う。」

河委員「残した方がよいと思う。」

事務局高橋専門調査員「提言を考えるときに実現性はもちろん重要だ。ただ、実現性が高いかどうかだけで提言を考えるべきではない。必要かどうか、という方が大事ではないか。それと、提言の数についても考えて欲しい。今は、どれも残した方がよいという流れになっているが、残りの会議のなかでいくつものことを本当に掘り下げてよい提言をつくることができるのか。どれも、ないよりはあった方がよいと思うが、それでは理由として弱い。しっかりと時間をかけてよい提言にして欲しい。そして、今はもう議論をするときではなく、絞り込みをするときだということを意識して欲しい。」

河本委員「個人的には、防災・災害関連のものだけでもいいのではないかと思う。」

金部会長「残りの時間も少なくなってきたので、ここで決をとりたい。まず、健診のお知らせの多言語化を提言の候補として残すことに賛成の人は手をあげてください。（0人）次に、保育園の申請について賛成の人は手をあげてください。（6人）それと、防災アプリの多言語化に関して賛成の人は手をあげてください。（4人）最後に、念のために確認しますが、災害後の取り組みについて提言の候補とすることに賛成の人は手をあげてください。（全員賛成〔9人〕）それでは、地域生活部会としては保育園の申請と災害後の取り組みの2つを提言の候補として残すことにする。以上で今日の部会を終わりにする。」

【全体会】

ケゼンダ副委員長「それでは、まずは部会報告を情報・社会教育部会からお願いする。」

キースタ部会長「情報については、どうすれば一番効率的に発信できるかということ、ホームページの改善に絞って議論してきたが、実際に改善点をあげるとたとえばHTML形式にして欲しいといったような細かい技術的なもの多くなり、結果としてこの会議で提言する内容ではないということになった。情報を伝えるという意味では、オリエンテーションの方にうまく組み込みたいと考えている。オリエンテーションについては、いくつかのことを固めていった。まず、説明する言語については、基本的にはやさしい日本語ということになった。そのうえで、多言語の対応についても考えているが、次回以降に審議する。内容については、川崎市のこと。たとえば、窓口や施設について。それと、保険、年金など日本で暮らすために知らなければならないことについてがメインになる。ただ、内容に関しては、アンケートなどを実施して改善していくのがよい。そのほか、名前や場所、開催頻度などについても議論したが、結論が出なかった。引き続き審議していきたい。」

ケゼンダ副委員長「何か質問や意見はあるか。」

タカハシ委員「オリエンテーションでは、電車やバスでのマナーなどは扱うか。」

キースタ部会長「部会の方針としては、そういったものは扱わない方向で考えている。あくまでも川崎市のことや国の制度についての情報提供が中心だ。」

ケゼンダ副委員長「ほかにあるか。（なし）では、続いて地域生活部会の報告を

お願いする。」

金部会長「今日は、提言候補の絞り込みをした。とくに保育園の申請について資料をもとに議論した。意見としては、制度が複雑、申請書類が難しい、多言語資料を川崎区以外でも進めたらよい、申請の流れがわかりにくいなどが出た。最後に多数決をした結果、災害後の取り組みについてと保育園の申請の2つに絞られた。」

ケゼンガア副委員長「何か質問や意見はあるか。」

ヒラチャン委員「具体的な内容については、今後詰めていくのか。」

金部会長「災害後の取り組みについては、一応、避難所の運営と被災証明交付願の2つに絞っている。保育園の申請については、もう少し議論を深めていきたい。」

デイトマー委員「とくに質問というわけではないのだが、外国人で子どもを保育園に入れたいと思っていて、まったく日本語ができないという人はどのくらいいるのだろうか。」

ケゼンガア副委員長「一応、今回は実際の経験をもとに改善策を考えているので、統計的なデータを背景にして考えているわけではない。日本語がまったくできないわけではなくても、窓口でのやりとりや書類作成で苦労したり、諦めたりしてしまう人もいるだろうということで考えている。ほかにあるか。（なし）では、部会報告は以上だ。次に、オープン会議について審議する。まずは、事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明。）

ケゼンガア副委員長「今の事務局の説明について、何か質問はあるか。（なし）では、実行委員会の内容を簡単に報告する。実行委員会では、参加者の振り分けと人の入れ替えが必要な場合のタイムロスをどうするか、といったことが論点としてあがった。今日はいくつかのことを決めなければならない。まずは、テーマについて。情報・社会教育部会は、提言の候補はオリエンテーションに絞られている。一方で、地域生活部会は、災害後の取り組みと保育園の申請という2つのテーマが提言の候補になっている。つまり、全部で3つのテーマが提言の候補になっているが、オープン会議で全部扱うか、それとも絞るかどうかを決めなければならない。みなさんの意見はどうか。」

キースタ部会長「個人的に、オリエンテーションについては残したいが、地域生活部会のテーマを絞るかどうかということ、情報・社会教育部会の人が決めることはできないように感じる。地域生活部会の人たちはどうしたいのか。」

河委員「せっかく2つにまで絞ったし、意見を聴ける貴重な機会なので2つとも残すのがよいと思う。」

ディットマー委員「今回は、提言案について意見を聴くというのが目的だ。

オリエンテーションについてはわりと聴きたいことが明確にあるが、地域生活部会のテーマについては、そのあたりはどうなのか。」

金部長「個人的には、災害後の取り組みに絞った方がよいのではないかと考えている。」

チャクラヴァルティー委員「繰り返しになるかもしれないが、テーマを絞るかどうかは、部会のメンバーで決めた方がよいと思う。そのときには、何について意見を聴くのかということはある程度具体的にした方がよいと思う。」

葉委員「2つのテーマを残して、それを1つの分科会で扱うと時間が短くなるが、それぞれのテーマごとにグループをつくれればよいのではないか。」

タカハシ委員「個人的にはテーマは絞りたい。どちらも参加者からの意見やアドバイスをもらいたい。」

ディットマー委員「テーマを絞るかという問題は、やり方の問題とも関わってくる。

テーマを絞るかただけでは決められない。」

(事務局高橋専門調査員が選択肢をホワイトボードに整理。)

ケゼンダ副委員長「ホワイトボードにある選択肢については理解できたか。質問はあるか。(なし)それでは、まずは1つの分科会またはグループで複数のテーマを扱うか、それとも1つのテーマだけを扱うかを決めたい。1つのテーマだけを扱うということに賛成の人は手をあげてください。(賛成多数)残り時間も少なくなってきたので、あとはテーマを絞るかただけ決めたい。3つのテーマを扱うということに賛成の人は手をあげてください。(賛成多数)では、提言の候補を3つとも扱うということにする。

次に、実行委員会報告に移りたいが、すでに時間が超過している。このまま時間を超過して審議してもよいか。(全員賛成)では、市民祭り実行委員会から報告をお願いする。」

ヒラチャン委員「今日は代理で私が報告する。時間も過ぎているので簡単に報告する。インターナショナル・フェスティバルの振り返りをしたが、今年は子どもだけではなくて親にもしっかりアピールできたのでよかったのではないかというのがまとめだ。多文化フェスタさいわいについてだが、参加人数が非常に少なくて困っている。以前から日程もわかっていたし、参加は全員で多数決をとって

決めたことだ。不参加ということになると主催者にも迷惑がかかる。あらためて、出欠確認をとりたい。午前に参加できるという人。(2人) 午後に参加できるという人。(5人) 午前の参加者が少ないが、事務局と対応を協議したい。市民祭りについては、参加日程が11月5日ということで決定した。内容については、今年、スタンプラリーはしないで大人にきちんとPRすることを考えている。詳細については、また次回報告したい。」

ケゼンダ副委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・外国人市民代表者会議第12期の募集について
- ・議事録の確認について

ケゼンダ副委員長「次回の会議は10月15日、午後2時から、国際交流センターで開催する。これで、2017年度の第2回第2日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」